



地区社協の活動と取り組みを順番に紹介します

岡保地区

連携・協力を深める合同研修会

岡保地区は、福井市の東部に位置し、東山と田園風景に代表される13自治会からなる、総人口2,437名(※)の地区です。小さな地区ですが昔と比べ、人と人のつながりは希薄化が進んでいます。

ひとり暮らしや高齢者世帯は年々増加傾向にあり、災害時の避難支援



を必要とする人も当然ながら増えている中で、誰もが安心して暮らせるまちづくりのために、地域住民や自治会長、地域の各種団体との連携と協力は言うまでもないことです。とりわけ民生児童委員、福祉委員の連携と協力は必要不可欠で強固なものではなければなりません。

そこで、私たちの地区では、毎年2回の民生児童委員、福祉委員の合同研修会を実施しています。昨年は、4月に講師を招いて合同研修会、11月に特別養護老人ホームとグループホームを運営されている『愛全園』を訪問見学し、介護についての識見を高めました。

場所を移しての昼食は、蕎麦定食に舌鼓を打ちながら、和気あいあいの中、様々な情報交換もでき、お互いの距離を縮めることができました。

この様に、同じ時間を共有することで、地区社協の2大イベント(9月の長寿まつり、11月の福祉まつり)も、積極的参加と連携・協力で楽しく乗り切っています。

※平成30年8月1日時点

岡保地区社会福祉協議会

上文殊地区

シルバーメンズもいきいき交流

市内49地区社協の活動を順番に紹介しています。

上文殊地区社協は、文殊山を背にして、緑豊かな田園風景の中にあります。65歳以上が占める割合が4割近くになり、高齢化が進んでいます。様々な行事が盛んな地区で、まだまだ元気いっぱいです。

各町内では、自治会型デイホーム「ほのぼのサロン」を開いています。毎月脳トレや物づくり、体操を楽しみ、おいしいお茶やお菓子で和気あいあいと時を過ごします。皆さん、とても心待ちにされ、月に一度では足らず、自主的に二度開いている町内もあります。

毎年10月には、「ほのぼのサロンの利用者さんで、すかっとランド九頭竜へ行くのも楽しみのひとつです。ゲームで盛り上がった後は、お風呂に入りすかっとし、そして演芸



を楽しみます。

また、65歳以上の男性による「シルバーメンズ料理教室」を開いています。初めのうちは、包丁を持つこともおぼつきませんでした。が、今では、いわしの背開きが出るまで上達しました。毎回、季節の地産野菜を用いた料理をいただくと、参加者も話がはずみます。また、秋にはひとり暮らしのお年寄りに配るお弁当も作っています。

今年に入り、豪雪、豪雨、猛暑と大変厳しい状況が続き、多くの高齢者をかかえる地区として心配なことばかりです。当地区社協では、「支え合いマップ」や研修を通して知識を深め、地区の様々な団体との協力を深めていきたいと考えています。

上文殊地区社会福祉協議会

◆ 次回は河合地区と木田地区を紹介いたします